

第5回

愛知大学FDフォーラム

テーマ「学部FD活動への取り組みと成果」

授業の改善においては、個人の努力もさることながら、カリキュラム提供母体の組織的な取り組みがきわめて重要であると考えられます。学生による評価が高い授業が個々にはあったとしても、そうした授業相互の連携が希薄であったり、入学から卒業までの教学のトータルなプロセスに対しての評価が高くないのであれば、学生や社会から評価される教育改善はおぼつかないと言えましょう。そこで、今回の愛大FDフォーラムでは、「学部FD活動」に焦点を当て、組織的教育力の向上にむけて学部が取り組むべき活動とはどのようなものかについて考えたいと思います。田中先生には、学外の注目される諸事例を踏まえつつ、ご専門の立場からこの点についての基調報告をお願いし、学内からは、COL採択によってますます脚光を浴びている現代中国学部の組織的FD活動について、佐野先生からのご報告を受けます。

多数の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【日時】 2003年12月18日（木）10：30～12：30

【会場】 愛知大学名古屋校舎中央教室棟第4研修室

（テレビ会議システムを使用します。フォーラムの様子は豊橋校舎本館第3会議室でもご覧になることができます。）

【パネリスト】

田中義郎氏（玉川大学教育学部教育学科主任・教授、同大学院文学研究科教育学専攻教授 / 基調報告者を兼ねる）

佐野俊彦氏（愛知大学現代中国学部助教授）

大川四郎氏（愛知大学法学部FD委員 / コーディネーターを兼ねる）

【主催】愛知大学FD委員会

《田中義郎氏（基調報告者）のプロフィール》

1955年生まれ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学大学院博士課程修了後、桜美林大学講師、玉川大学助教授などを経て、1999年より現職。1994年より大学教育学会常任理事。主な著書・論文に、『大学カリキュラムの再編成』（玉川大学出版部）、「商品開発は『学科』から『教育プログラム』へ：教学組織と教育プログラムの本来ある関係」（『カレッジマネジメント』119号所収）など。

問合せ先：愛知大学総合企画課
TEL (0532)47 - 4148